

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー



おかげさまで

# 10期連続受賞

2019年度《特別優秀賞・特別優秀企業賞》W受賞



ヤマト住建は、この度、一般財団法人日本地域開発センターが主催する省エネルギー住宅のトップランナーを選定する表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2019」において、特別優秀賞・特別優秀企業賞を同時受賞いたしました。

ヤマト住建は2009年度の初参加以来、毎年受賞を続け今年度で10期連続での受賞となります。



省エネ・高気密・高断熱住宅の普及や  
ZEH促進への取り組みが高く評価されました。

受賞商品である「エネージュ UW-V」は、太陽光発電とV2Hシステムにより電気の自給自足を行うとともに、全館空調システム (YUCACO) の搭載、高気密・高断熱化による省エネルギー性能を高めた、ゼロエネルギー住宅を実現しています。(UA値: 0.27 [W/m<sup>2</sup>・K])

また、コスト面でも消費者の負担を低減しており、省エネ・高性能住宅の普及においても高く評価されています。



※写真・パースは当社施工例です。

受賞商品	「エネージュUW-V」	主催	一般財団法人日本地域開発センター
受賞名	ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2019 特別優秀賞・特別優秀企業賞	表彰日	2020年3月24日

《ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー概要》

建物躯体とエネルギー設備機器をセットとして捉え、トータルとしての省エネルギー性能やCO2削減等へ貢献する優れた住宅を表彰し、日本における省エネルギー住宅の普及と質的な向上に貢献することを目指しています。

【評価の視点】

- [視点1] 外皮・設備の省エネルギー性能値
- [視点2] 多様な省エネルギー手法の導入および健康、快適性 その他の取り組み
- [視点3] 省エネルギー住宅の普及への取り組み